

法くんに志のけをを悔み法くりに  
 他日を入る平田の上田の他毛はうひの  
 一雨又はもまぐいとも麦田はなるる魚  
 所をい少くたうとも人さゆへみみ来は  
 ましく麦田のり成は百姓のた免たき  
 ある減分より一は麦田とは五の二階  
 その心付あ建はるりのよき事

一 春秋交を以て秋は年中に為るる

うけ魚一何ほく他は精を入るる魚は

ても頼いのる事此他をまがり身上げ

中実のにはるるを均等とあり女房子供

一 河庄の事

一 多勢粉香りるおは是公倉にもあは結句

以来成り取るるりのよき事保めはけり